

会 議 録

会議の名称	第6回上尾市立平方北小学校再編検討協議会	
開催日時	令和7年7月29日（火）午後3時から午後4時30分	
開催場所	平方北小学校 会議室	
議長(委員長・会長)氏名	会長 長嶋 佐央里	
出席者(委員)氏名	福島 禎子、伊藤 由佳、上村 友佳、本舘 弘貴、佐藤 智栄、陣ノ内 文江、河原塚 律緒、小森 幸男、手塚 雅博、青木 一弥、三日月 桂子	
欠席者(委員)氏名	橋村 則史、鮫嶋 紀子、廣林 達哉	
事務局	学務課 吉羽主幹 指導課 濁川副主幹 新しい学校づくり推進室 深井室長、矢部主査、矢野主任、前平主任、石川技師	
会議事項	1 議 題	2 会 議 結 果
	(1) A案「通学区域を分けない場合」について ・どこへ編入とするか ・通学距離が延びた際の通学方法	別紙「議事の経過」のとおり
	(2) B案「通学区域を分ける場合」について ・どこへ編入とするか ・通学距離が延びた際の通学方法	
	(3) いつ編入とするか	
	(4) その他	
議事の経過	別紙のとおり	傍聴者数 4名
会議資料	別紙のとおり	
議事のでん末・概要に相違なきことを証するため、ここに署名する。 令和7年9月26日 議長(委員長・会長)の署名 <u>長嶋 佐央里</u> 議長に代わる者の署名 _____ (議長が欠けたときのみ)		

議 事 の 経 過

発 言 者	議題・発言内容・決定事項
会長	それでは、本日の資料及び議題について、事務局より説明をお願いいたします。 議題 (1) A案「通学区域を分けない場合」について ・どこへ編入とするか ・通学距離が延びた際の通学方法
事務局	〔事務局より会議資料に基づき説明〕
会長	ただ今の内容で何か質問等がございましたら、ご発言をお願いいたします。 〈主な質疑・意見〉
会長	まず、距離や実際の人数規模などから、どこの学校に編入するのが良いのかということについて、また、この場でどの学校へ編入するかを決めるということではなく、いろいろ考えられる点、懸念点が解消できればそちらに行くということも考えられますので、どの小学校へ編入するかということは特に限らないので、ご意見いただきたいと思います。
A委員	例えばどこかの小学校に平方北小の生徒が編入するとなった場合は、今後ずっとその学校の区域になるということになるのか、今回だけ特例で編入するのかどちらですか。
会長	事務局いかがですか。
A委員	例えば平方東小に編入するとなったときには、今後平方東小の学区はこの範囲になりますよということになるのですか。
事務局	今回お示ししたところのA案につきましては、おっしゃる通りのことを想定したものです。 A案の再編の形として、平方北小の通学区域をそのまま近隣の学校に編入した場合となり、近隣の学校からすると通学区域が拡大した状態が続いていくというイメージでございます。
A委員	単純にみると、この平方東小の通学区域が非常に細長いエリアになっていて、平方小の学区に平方東小のグラウンドのすぐ南にあります。この件とは少し違うかもしれませんが、平方東小のすぐ近くに住んでいる方が平方小の通学区域に入っていると思いますが、そういった方の通学距離は今後考えないのでしょうか。

事務局	平方東小が目の前だが、平方小まで通っている子どもの事は、この先どう考えるのかというお話でしょうか。 今回の再編に伴った考え方の中では、他の学校の通学区域をいじることとは考えないほうがよいと思っていますところでは。 特に平方小については、現状の学校規模もそこまで大きい方ではないので、これ以上平方小の通学区域をいじるといえるのはよくないかなと思われま す。 そのため、平方北小の通学区域を近隣の学校へ編入するとどうなるかということ を今回シミュレーションしたところでは。 また、強いご希望があれば、平方東小の目の前に住んでいる方の通学区域を 変えるというのものもあるのかもしれませんが、今の段階ではそこまで検討することは難しいのではないかと いう考えです。
会長	平方北小をどういうふう に再編するかということがメインになってくるかと思うので、このように提案されたのかと思われま す。
B 委員	ぱっと見た感じでは、児童としてはみんなで行けるのでA案の方が良いのではないかと 思います。ただB案を見てみると、通学区域を分けた方が距離など様々な面 で良いのではないかと 思います。 通学区域を分けずに編入すると なると、大石南小の学区図で見 る場合、大石南小に近い北側に住んでいる方 たちはいいけど、平方東小が近い南側に住んでいる方は平方東小へ行きたいな なると 思います。 A案もいいところありますが、私的にはB案の方が良いのではないかと 思います。近隣校の児童も均等に増えるという点もあります。
副会長	確認したいのですが、今回の協議はA案の場合はここが良いのではない か、B案の場合はこうした方が 良いのではないかと、という協議の仕方を するということではよろしい でしょうか。A案とB案のうち、どちらかに決めるということではないと 私は 思います。A案ならここが良いのではない か、B案ならこうするのはどうか ということではないのかなと思 いま した。
事務局	ありがとうございます。 今回の協議の中でA案かB案かを決めるというわけではなく、A案には こ ういう良い点、悪い点があるというご意見をいただけるとありがたいで す。 先ほどB委員からいただいたように、例えば、今大石南小に編入すると した 場合、平方東小に近い南側に住んでいる方、地図上でいうと青い点の 子ども たちは通学距離が長くなってしま うので良くないのではないかと いうご意見などをいただけると ありがたいです。
会長	どれかに決めるということではなくて、それぞれのメリットデメリット、懸念点 などがあり、その懸念点が解消できる場合もあるとかそういう ご意見をいただければと思 いま す。
C 委員	メリットデメリットという面 で言えば、メリットは平方北小の児童全員で移れるので新しい環境に早くな じめるのではないかなと思 いま す。 今回見て思ったのは、平方北小のこの会議の中で、平方地区の人がちょ

	っと少ないというお話がよく出るかと思います。ただ、丸山団地に最近引っ越してきた方が少しいるというお話も、前回か前々回にあったかと思います。 例えば今泉小は少し難しいのかとは思いますが、今泉小に編入する場合、平方の方から今泉小まで通うとなるかと思いますが、小学校がそんなに遠いのであれば、子育て世代は平方へは行かないのではないかと思います。A案にはそういうデメリットがあるのではないかと思います。子育て世代は子どもを小学校に通わせることを考えて住む場所を選ぶと思うので、子どもが小学校まで通う距離はすごく重視すると思います。子育て世代が引っ越しをする際には、生活圏内に小学校、中学校、スーパーなどがどこにあるかを調べるかと思います。A案の地図でみると、どこかが遠いとなった時に、そこの地域に引っ越そうと思わなくなるデメリットが住んでいる人にとってあるのではないかと思います。そうすると子どもが増えるってことは難しいのかなとも思いました。
会長	ありがとうございます。他に何かございますか。
D 委員	今回は他の学校から平方北小に編入することについての協議はせず、それ以外のところから決めるということだと思いますが、並行してやっていただいても良かったのではないかと思います。 以前に丸山団地のほうにお越しいただいてお話をしたのですが、その際に平方東小が意外に近いというお話をされていて、今回見てみて本当に近いなと思いました。前回、大石南小に移った場合、避難所としても安定しているという話がありましたが、そうすると丸山団地は1.5kmから2kmくらいの距離になるので、バスに乗れる可能性が高いかなと考えています。 A案のように全員で編入できれば、人間関係を壊さずに行けるというメリットはどこの学校に編入してもあると考えます。あとは距離の問題かと思います。
会長	ありがとうございます。
E 委員	一つに絞るというのは非常に難しいと思います。 私は地元の人間ですからよくわかるのですが、例えば平方北小の周辺に住んでいる方が、平方小に行くのは非常に大変です。距離だけではなくて、安全な道がありません。ガードレールがついている道がないです。 一番安全なのは平方東小です。平方東小は団地の中を通って行けば、比較的安全です。 大石南小は危険がいっぱいです。実際に平方北小学区に近い大石南小の児童の通学路を考えると、川沿いに行くのが一番近道ですが、非常に危険です。私はスクールガードリーダーをやっているという関係があって、いろいろな学校のリーダーとコミュニケーションをとっていますが、危ないという話をよく聞いています。ですから、送迎の際に小敷谷広場の方まで行って一緒に帰ることもありますが、危ないなと思うことがずいぶんありました。 距離だけを考えるのではなくて、危険性も少し頭に置かないとせっかく作ったものが無駄になってしまうような気がします。 逆に言えば、ある程度の絞って選択制にした方がいいような気がします。

	す。平方っていうのは非常に広い地区なものですから、丸山公園の南側と北側とは相当距離があります。この両方に住んでいる方が平方北小まで通っているわけです。北側に住んでいる方は、大石南小が近いです。B委員が言ったように、平方小に近い方と大石南小に近い方をきっちり分けられないと思います。
会長	ありがとうございます。全員で同じところに行くと友達関係も悩まずにうまく馴染めるということもありますが、距離の問題と通学路の危険性、安全性の問題が少し入ってくるのかなと思います。
F 委員	学校の情報提供させていただきます。 一つは上尾市では小中一貫教育を昨年度から進めています。 本校につきましては、教育委員会指導の下、大石南中学区の方で小中一貫教育を進めております。大石南中学区は、大石南中、大石南小、あと本校になっております。 二つ目としては、これは皆様ご存知かと思います。本校は、大石南中に行く子と太平中に行く子と二つに分かれます。
会長	ありがとうございます。 その件に関しましては、B案の検討の際に、また情報提供をお願いいたします。
B 委員	みなさんの意見を聞いていて、例えばE委員の大石南小への通学は危険だよという意見を私達は今ここで知れたのですが、転入してくる人や既に住んでいる親御さんたちはどうやって知るのだろうかと思いました。 そういった通学路の安全性の情報などを手紙で伝えるというのは難しく、口づてや噂話でしか伝わっていかないと思います。 もし選択制になった場合、保護者はおそらく距離で考えてしまうと思うので、距離的には近い大石南小を選んでみたら、通学路が危険でしたということになってしまうのではないかと思います。 そういったものは一度決めてしまったら、簡単に変えられないと思います。そういう情報を保護者へ周知するというのは、手紙とかウェブになってしまうのではないかと思います。通学路の安全性というのは伝えづらいかと思います。選択制の場合は、そういう情報を知っている人にはメリットになるかと思いますが、知らない人たちにとってはデメリットになってしまうのではないかと思います。現状では協議会に参加している人だけが知っているのではないかと感じました。 生活圏について良く調べてから引っ越してくる人もいるという話もありましたが、反対に近所の方で遠くても大丈夫みたいな方もいました。元々田舎育ちだったから全然近いと思うし、どこに変わったとしても関係なく、子供を通わせるだけですという感じでした。そういう意見もあるのかなと思いました。知りたい人もいればそうでない人もいるのだと思いました。 ただ、距離で見てしまうのかと思います。それこそバスがあればと思います。
G 委員	通学路っていうのは危険なところは通ってないですよ。 もし近いところだったら、それは体験してから通学をしているというこ

	とですか。
F 委員	そうです。
G 委員	さっきの話については、改善はできるのかなと思います。
B 委員	今の一番は距離って感じですかね。
会長	今の話では通学路まで具体的にどうこうという話ではないということですか。
事務局	通学路につきましては、再編の方向性を定めたタイミングで再編に向けての具体的な準備委員会等を設け、望ましいルートや安全なルートの協議を進めて決めていくイメージ感でございます。あとは、通学路に危ない部分がある場合はグリーンゾーンを後から追加したり、本当に危険なところについてはガードレールを設置していくなどの協議を教育委員会や警察と共に行っている自治体もございます。上尾市でも同様のことができるかはまだわかりませんが、そういった対応が考えられると思います。 また、現状の通学路の危険なところは、ホームページに通学路安全マップというのがありますので、こちらで確認していただけるかと思います。 今後どうなるかはどのように再編が決まっていくかということもあるのですが、安全なルートなどを考えなければいけないかと思いますので、学校なども含めて実際に決まった段階で具体的な話になるかと思います。 危ないところについての対策は改善できるようなことはしつつ、改善が難しいところは情報共有をするといった形になるかとは思っています。
会長	その他何かございますか。 他にないようですので、続きましてB案についてご説明をお願いいたします。 議題 (2) B案「通学区域を分ける場合」について ・どこへ編入とするか ・通学距離が延びた際の通学方法
事務局	〔事務局より会議資料に基づき説明〕
会長	ただ今の内容で何か質問等がございましたら、ご発言をお願いいたします。 〈主な質疑・意見〉
H 委員	B案になった場合で、小学校、中学校に行くことを考えるとこういう分け方もあるのかと思いました。 ただ、この区分けされた地図を見させてもらったときには、自分の家はどこの校区に入るかというふうに見てしまいます。自分の家の場所だと大石南小に通うことになるので、在校生たちがまとまって行けるから安心だなという目で親としては見てしまいます。

	もし自分が平方小に行く側だった場合、私の子供は2年生なので、1人で平方小に通うことになってしまい、少し嫌だなと思ってしまいます。子供が1人で行くとなると転校したような形になってしまい、子供に申し訳ないと思ってしまうので、それなら引っ越そうかなとか考えてしまうと思います。そこがデメリットとしてあるかと思います。
会長	ありがとうございます。その他何かございますか。
I 委員	A案とB案を見させてもらったところ、B案の方がすっきりするなという印象があります。 懸念点とメリットを比較してみると、B案の懸念点は懸念点と言えるのかという印象があります。例えば、B案の懸念点として挙げられている仲の良い友達と離れてしまうのは、あくまで在校生が移動するという観点でしかなく、A案のように全員で編入をしても中学校に上がる時点で分かれてしまうというのものもあるかと思います。 同じように、A案で在校生が離れなくて済むというメリットとして挙げられていますが、そのメリットは中学生に上がるまでのものかと思います。B案なら中学校になってしまえば、行った先で増えた友達と一緒に同じ中学校に行けるので、逆により仲のいい友だちも増えて、そのお友達とも同じ学校に行けるので、私はあまり懸念点という感じには取れませんでした。 平方小の人数についても、この資料では令和7年度時点での人数のため、実際に再編をするとなった時の年度にどうなるのかはわからないと思います。 ですので、その点も懸念点として取るのも微妙かと思います。平方北小と同じように、平方小もどんどん児童数が減っていくと思うので、数年後にB案で再編したとしても平方小は小規模のままかもしれないので、そこを懸念点としてB案が難しいとは考えられないかと思います。B案の懸念点は私の中では懸念点と取れなかったもので、B案はメリットの方が強いという印象です。もう少し先のことも考えるとメリットでしかないなと思います。距離が遠くなる児童がいるという話がありますが、それも実際に再編となった際にどのくらい増えているのかわからないので、そこであまり比較はできないかとも思いました。
会長	ありがとうございます。その他何かございますか。
A 委員	先ほどの話で、B案は学年で1人だけ別の小学校に行くことになり、仲の良い子たちと分かれてしまうというのがあったかと思います。もしB案にするのであれば、ある程度は特例で通う学校を選べるというのとも考えに入れた方がいいのかなと思います。 B案で再編をする場合はこの小学校の区域はこの範囲ですと決めていくと思いますが、今回の再編の中では特例として、本当は平方小に通う区域の子だけでも、他の学校にも通えますというような、全部線を引いてしまうのではなく子どものことを考えた細かい対応が必要なのではないかと思います。
会長	在校生に限ってはということですか。

A 委員	そういう風にするしかない。線を引いてこうしますというのは良くないと思います。
会長	ありがとうございます。
I 委員	今のご意見に私も賛成です。在校生が高学年でいきなり今年から別の学校に編入となると 5 年間築いてきた友だち関係がありますし、低学年ではまだ一年経っていないところで分かれてしまうというの也有ります。 きょうだいの関係もあるので、再編する年度だけでなく、数年は配慮や特例が必要だと思います。特例や配慮がない状態でこの再編をするのは難しいと思います。そういう特例をやるべきだと思いますし、もし分かればこの間調査しましたが、上尾市以外でもそういう特例があったかどうかあれば知りたいなと思います。
会長	ありがとうございます。
C 委員	学校の通学区域を決めるというのはいいと思います。上尾市以外でこういう会議をしている自治体のニュースレターを読んだところ、通学区域を B 案のように分けた案、在校生に限り区分けに関係なく学校を選べる案、近隣の学校だけでなく市内の他の学校も選べる案の 3 案がありました。上尾市は小学校が 22 校あるので大きい話になりますが、その自治体では 3 年間、市内どこの学校も選べる。その代わり、親御さんが送迎をしていただくというのを出している自治体がありました。 I 委員が先ほど友達と別れてしまうことが懸念点としづらいとおっしゃっていましたが、逆にそこに重きを置いている子もいると思います。友達と別れてしまうことが関係ある子も中にはいると思います。そう考えたとき、再編の区割りを 1 案で出すのではない方がいいのではないかな。 再編後に入学する方に示す必要があるなので、区割りは市で分けていただく。前提としては区割りのとおりに通っていただくが、在校生に限り他の学校も通えるというような案を何個か作って伝えた方がいいのかと思いました。案として言わせていただきました。
会長	この場合はこういった条件が付いた方がいいと言っていたいただいて構わないです。
C 委員	上尾市内の他の場所では、鴨川小と今泉小を選べる、大石小と西小で選べるような地域があります。B 案の大石南小に通う区域でも、平方東小寄りの子たちは平方東小と大石南小を選べるというのを作るのもよいかなと思います。B 案の大石南小の区域全部を平方東小も選択できるようにするというわけではないですが、上尾市内で選択制になっている地域があるので、選択区域をこの中で作ってもいいのかなと思いました。
会長	ありがとうございます。その他何かございますか。
F 委員	先ほど小中一貫教育の状況と中学校進学についての情報提供をさせていただきましたが、小学校段階でもしどこかの小学校に行きますとなった場合、進学先の中学校はどうなるのかということを心配しております。

会長	ありがとうございます。
C 委員	案なのですが、例えば選択制で選んだら中学校も選んだ小学校に対応する中学校に通うようにするというのはいかがでしょうか。例えば、大石南中の区域に住んでいる方が、平方東小を選択した場合は太平中に通うことになる。選択制の小学校を選ぶ段階でどの中学校に通うことになるか示してもよいかもしれません。極端な話ですが、もし市内のどこの小学校でも通える案が採用されて、上尾駅近くの小学校に通う場合は上尾中学校に通うというような形です。
会長	ありがとうございます。その他何かご意見ございますか。
D 委員	学区の問題などがあるとは思いますが、市内で自由に学校を選択できるようになると、今後の生徒数もデータからは読めなくなって、平方北小が増えることもあり得るのかなと思いました。太平中は体育館を建て替えるのでそれを目当てに集中するかもしれません。 先が読めないというのは学校にとっては大変なことなのかもしれませんが、逆の意味で希望は持てるのかなという感じがしました。
会長	ありがとうございます。その他何かございますか。
J 委員	B 案の平方小に通う学区に関しては、平方小に通うのが 1 年生 2 人、2 年生 1 人、3 年生 3 人と少ない人数になっていますが、逆に平方東小に行く 5 年生が 1 人なので、やはり選択できる方がいいのかなと思います。中学校に関しても選べるようにするのであれば、B 案の平方小に通う学区の子も大石南小に行って大石南中を選べるような形になるとか、選択区域ができる方が子ども達もやりやすいのかなと思います。
会長	ありがとうございます。その他何かございますか。 他にないようですので、続きまして「いつ編入とするか」についてご説明をお願いいたします。 議題 (3) 「いつ編入とするか」について
事務局	〔事務局より会議資料に基づき説明〕
会長	ただ今の内容で何か質問等がございましたら、ご発言をお願いいたします。 〈主な質疑・意見〉
C 委員	段階的に再編とするのは少し現実的ではないのかなと思いますが、その場合は、新入生が入ってこないのので教員も減るということですね。生徒数で教師が配置されるっておっしゃっていたと思います。校長先生、教頭先生、教務主任の先生などがいらっしゃるかと思いますが、学校の中に 1、2 学年しかいないと、できない授業とかも出て来てしまうと思われます。 平方北小だけではないかもしれませんが、教科ごとにいろんな先生が入

	ってくださいっています。自分の担任の先生以外の先生が5、6人くらい1学年で関わってやってくださっているのですが、そういうような授業ができなくなるかと思います。今まで5、6年生の子たちが低学年の時は担任の先生しか知らないですよね。いろいろな先生と会うとちょっと気分が違おうようです。そういうのをやっていただいて、1学年1学級でも楽しく過ごせているかとは思いますが。新入生が入ってこないとなると、それもできなくなりますし、在校生としては下級生がいないという状況は本当に大きな影響があると思いました。 準備ができ次第編入という場合でも、年度初めに編入するのはすごく大事だなと思いました。他の学校は2クラスとかはあるのでクラス替えをすと思っています。2クラスしかない顔見知りの児童が多いとは思いますが、初見の子もいると思うので、平方北小から編入となった際にそこであまりうまくまぎれてスタートできるのではないかと思います。年度初めというのは本当にすごく良いと思います。夏休み明けなどの中途半端な時期ではなく、4月でクラスが変わるときに紛れ込めるといふか、一緒になれるというのはすごく大事だなと資料を見て本当にその通りだと思いました。
会長	ありがとうございます。
B委員	段階的に編入となった場合、イベントとかも少ない人数ですることになる、よくテレビで見る限界集落の卒業式のようなことが起きるかもしれないということです。だから皆さん圧倒的に準備ができ次第編入の方かと思いますが、段階的に編入のメリットとして早くできるとかあったりしますかね。
事務局	その場合でも6年間はかかってしまいますね。
B委員	そうですね。であれば、生徒もすごく寂しいと思いますし、防犯上もイベントも問題があって大事な思い出を作る機会も損なわれてしまうので、私は圧倒的に準備が出来次第編入がいいと思います。
会長	ありがとうございます。
H委員	この案を見させてもらって、まず準備ができ次第編入しか考えていなかったもので、資料が先日届いて見た時には少しびっくりしました。もしそれをやった場合、新入生の入学を停止するというのを知ったら、下の子を入学させないだろうなと思います。私立でも違う学校に頑張ってもどこかに入れようと思います。 子どもが下級生の子どもと触れ合うことも大事だと思うので、運動会もないし、いろいろなものがないというのはありえないと思います。段階的に編入はないかなと思います。
会長	ありがとうございます。
C委員	質問なのですが、これはどちらかの手法を選ぶ感じでしょうか。 例えば、2年間くらい1年生の入学を停止して、3年生から6年生の4学年しかない時に、他の学校に編入するという2つの案を混ぜることはできるのでしょうか。それともどちらかの手法だけを採用するということで

	しょうか。
事務局	段階的に編入のケースを出させていただいたのは、小学校ではなかなか見受けられなかったのですが、中学校や高校は3年制なのでそういった事例があるためです。新入生の入学を停止して、3年間の中で段階的に少なくなって最後の卒業生が2人しかいないというようなものです。ただ、それは小学生にはそぐわないと思いましたが、考え方としてはそういうのもあるので周知させていただきました。 そういうところも含めて、今C委員からあった例えば1学年2学年の2年間ぐらいは入学を停止して、残りその年に残った3年生から6年生を一気に編入するとか、そういうイメージでよろしいでしょうか。
C委員	そういうことはあり得るか伺いたかった。
事務局	やり方として想像はついてなかったもので、分かりかねるところもあるのですが、全くないわけではないかと思います。 ただ、そこでどれくらい教員の配置が可能なのか、実際の運用をシミュレーションしないといけないかなという気がしています。
E委員	意見として、段階に編入するというのは確かにいいかもしれませんが、どこかで一気にやらない限りはリスクが大きいと思います。今でも登下校の人数が非常に少ない人数の班編成です。それが段階的に減っていったら、登下校は非常に危険です。今まで10人から13人で、登下校していたものが半分になると考えたら、少し危ない気がします。 まして、上の方の子がいなくなってしまい、下の方の子だけで登下校をするというのは大変です。もし編入するのであれば、準備ができ次第編入するしかないです。 また、いつから平方北小がなくなるのかという質問されることが多いです。近隣の人、デイサービスに通っている利用者の人、先ほど言ったスクールガードリーダーの仲間内からいつなくなるのかよく聞かれます。全然決まっていないというのは言っていますが、みなさん関心を持っている人は結構気にしているので、役所の方でもある程度のアナウンスは必要な気がします。おそらく、事情が分からない人は平方北小がなくなると聞いています。いろいろと皆さん関心があるでしょうから、ある程度説明していくのも必要かなと思います。
会長	はい。ありがとうございます。
A委員	準備ができ次第編入の案でいくと、それを決めた時点で、例えば2年後に再編して何年度になりますよというのをアナウンスするかと思います。その場合、再編前に平方北小に新入生として入って来る子たちは後で通う学校が変わることを知っているの、必然的に新入生はかなり減ってくるというのもあり得るかとおもいます。今少ない人数をさらに持ってくる、そういうのは少し難しいかと思います。 今後、学校が変わるのであれば初めからその学校に通わせてほしいという人たちも出てくると思いますし、それだったら先に引っ越すという方も出てくると思うのですが、その辺はどういうふう考えていくのかなと。引越しについてはそのご家庭の対応で、しょうがないというのものもあるかと

	と思いますが、この地域に住まわれていて引っ越しができない方たちはせっかく平方北小に入学したのに翌年違う学校に行くことになる。 違う学校に行くのであれば、初めからその学校に通わせてほしいと言われた場合どうするのだろうかというのはあると思います。そうこうしているうちに、1年、2年かかったらかなり人数減って来てしまい、段階的に編入のように人数が減ってきて、結果的に段階的に編入に近くなってしまいかもしれないです。 そういうことがあります、準備ができ次第編入ということになれば、今度はごきょうだいがいる場合はどうしましょうかなどいろんなケースが出てくると思います。そういったことを考えないといけないかと思います。
G 委員	この前の調べてもらった事例の中で、時期について回答をもらっていましたがでしょうか。例えば北本市などの事例です。
事務局	北本市については時期を決めて、そこで一気に変えていったという形です。ただ北本市の場合は、実際に期間として約1年半程度かかりましたとお伝えはしましたが、これは比較的短いと思います。ですので、北本市のように結論が出てからうまく動けば、先ほどの入学を控える人が出てくるという方が少なく済むのかと思います。 しかし、例えば再編が決定してから2年要するという算段をして周知をした場合だと、1年目の周知をした翌年度からの児童はもしかしたら引っ越していってしまうかもしれないと思います。皆さんおっしゃるように新入学の1年生とか2年生の子は他に比べて少ない人数になってしまう可能性があるのかと思います。
G 委員	上尾市の場合は、議会やいろいろ調整もあるかとは思っているので、1年から2年では難しく、3年から4年は事務的にかかるかと思っています。
C 委員	1年くらいではできないですね。
事務局	前回少しお話させてもらった次の段階として通学区域審議会がありまして、そこで皆様の意見をもとに我々の方で作成した案を出すのですが、そこでもっといろいろ調べるとか、もっとこういう意見をもらった方がいいとか、その場でも委員さんからはいろいろな考えが出てくると思いますので、それに対応していくだけでも1年から2年はかかってしまうのではないかなと思います。 さらにそこから再編の形を取って進めていこうとすると、条例の改正をする必要があります。条例の改正は議会で議決が必要になりまして、その議決をするためには年度初めに調整を始めたとしても9月が最短という形になります。これは周りの方のご理解がしっかりとされていて順調に進んだ場合なので、それでも早い方ではあるかと思います。 ですので、北本市の約1年半程度っていうのは、比較的順調に進んだ結果なのではないかと思います。
G 委員	こういうふうになりそうだと決まってから結構時間かかるということですか。

事務局	そうですね。
G 委員	いろいろ考える時間があるということですね。
H 委員	お話し聞かせてもらって、私の子どもが入学する前のことを思い出したのですが、ちょうど就学前健診が上尾市から届いたタイミングで、ポストの中に平方北小がなくなりますというようなお手紙が入っていました。それを見た未就学児の親として教育委員会に相談しに行きました。もし平方北小がなくなるのであれば、なくなった後の編入先に行けないのですかということを知りました。 なので、それを考えると私のような親はいるのだらうなと思います。また、私の子どもが通っている保育園から平方北小に入学する子が 1 人しかいなかったです。子どももちょっとさみしそうでしたが、慣れれば今の環境に馴染んでいます。下の子も同じ保育園からもう 1 人平方北小に入学する予定の子がいますが、そのお母さんと「同じ小学校ですね」とお話をしたのですが、その方からは「まだわからない」と言われました。 平方北小がなくなるという話を聞いていて、その方は持ち家ではなくアパートなので引っ越すことも検討していて、同じ小学校かは分からないのでごめんねというようなことをお話ししました。 来年度は平方北小に 18 人が新入生として入る予定となっているとは思いますが、それも分からないだらうなと思いました。
会長	ありがとうございます。
副会長	私の経験から言えば、引っ越されるというのは少なくともあります。親御さんの考えですので、引っ越されて住所がそこになったら、それ以上何も言えません。少なからずそういうことはあるということは知っていただいた方がいいのかなとは思いますが、そうならないようにがっちりスクラムを地域で組んでいただいて、1 年や 2 年しか通わないとしても、この学校に行くということもあるとは思いますが。
会長	ありがとうございます。 準備とか時期とかもう少し考えていかなければならないというご意見としていただきましたが、だいたい準備ができ次第編入が良いかなという皆さんのご意見が出たかなと思います。 その他何かございますか。
D 委員	29 ページの再編の時期について委員の皆様へのアンケートと書いてある中で、再編に伴い距離が伸びる場合があったかと思いますが、この暑さの中で新 1 年生が新しい学校へ通う距離が遠くなったときの負担のことを考えてしまいます。大人の足での 1.5 km と小学 1、2 年生の 1.5 km では負担感が違うと思っています。意外とお母さん方は行くものですよと話されていたのですが、例えば平方小から平方北小までの距離を午後 2 時ごろの日差しの強い時間の中に歩くということを、どうイメージしているのかを皆さんに聞いてみたいです。 私としては 1.5 km を歩かせるというのは、非常に厳しいのではないかと思います。子ども達はあまりそう思わないのでしょうか。

B 委員	新1年生の母ですが、子供は駄目だと言っているの、私は歩かせるって考えはなく、編入のことを考える際には送りやすい道がいいなと思っています。通学について娘に聞いてみたら、一列であんなに長い時間歩くのがすごく嫌だ、楽しくないと言っていました。そうは言ってもと言い聞かせて登校班までは行きますが、嫌だと言います。そこで娘が「ママが送った方がいいじゃん」と言うので、「そうではなくて、みんなで行くんだよ」と私が言うのですが、どう説得したらいいのかもわからないし、この暑さだし、1年生だから送ってしまいます。一緒にいられるのも今だけかなと思って送っています。自分自身が通っていた時も通うのがすごく嫌だったし、昔よりも暑くなっているのよりそう思います。 この間ニュースになっていましたよね。何か自費でバスを出した自治体があったとか。
D 委員	夏の間だけですよね。
B 委員	夏の間だけスクールバスを運行しているというニュースを見て、これはもうやらないといけないのかなと思ってしまいます。みんな顔が真っ赤になっているので。
D 委員	高学年であれば体が慣れてと言えますが、低学年については、対策を考えないで決めてしまっているのだろうかとすごく疑問を覚えます。 バス通学などのいろいろデータを拝見したところ、通学距離が3 km以上に限られたりしていたりしますが、そのデータが何年前のデータなのか、この暑さの中で出たデータなのか非常に疑問です。安全に通えるっていう方法をセットで考えていくということをぜひお願いしたいと思います。
会長	ありがとうございます。どちらの案にしても通学路が伸びたことについて少し考えていかなければということで承っておきます。 その他何かございますか。
A 委員	通学距離の問題なのですが、私が子どもの頃の気候と今と全然違います。1.5 kmというのがいつ決まったのかよく分かりませんが、今回通学距離の編成をして1.5 kmの中に入っているからいいだろうということではなくて、全体としても通学距離を根本的に見直す必要があるのではないかなと思います。 例えば1.5 kmを1 kmにするとか、その中で子どもの安全だとか健康を考えて、バスの導入なども検討する必要があると思います。今回のケースだけではなくて、全体の中で考えていくということが非常に重要なことではないかなと思います。そういうものを考えれば、先ほどの地域の学校に近いところに偏るということも少しは和らぐのではないかと思います。必ずしも学校の近くが住みよい地域とはいえないところもあるので、距離があっても通いやすいところであれば地域が成り立っていくと思うし、子ども達にとっても良いと思います。 1.5 kmというのはかなりの距離だと思うので、この場とは違いますが、ぜひとも考えていただきたいと思います。
会長	その他何かございますか。ではないようですので、最後にその他でござ

	いますが事務局からございますか。
事務局	1 点、今後の予定について申し上げます。次の協議会は 9 月 3 0 日を予定しております。ご協力のほどよろしくお願いいたします。以上です。
会長	ありがとうございます。以上で議事を終了しますので、進行を事務局にお返しいたします。 閉会
事務局	長嶋会長ありがとうございました。本日予定しておりました第 6 回上尾市立平方北小学校再編検討協議会を終了しますので、閉会のあいさつを青木副会長よりお願いいたします。
副会長	以上をもちまして、第 6 回上尾市立平方北小学校再編検討協議会を終了いたします。
事務局	青木副会長ありがとうございました。第 6 回上尾市立平方北小学校再編検討協議会は以上でございます。皆様ありがとうございました。 以上